

異種クライアント デバイス環境での 802.11n の展開

概要

802.11n ドラフト 2.0 標準を利用できるようになった現在、企業は、この次世代ワイヤレステクノロジーが自社のネットワークにもたらす利点について調査を開始しています。802.11n によってスループット、リンクの信頼性、および予測可能性の分野でパフォーマンスが全般的に向上しますが、企業が 802.11n のすべての機能を利用できるようになるには、適切なワイヤレス インフラストラクチャが不可欠です。

802.11n 標準はさまざまな企業にとって有益ですが、802.11n の強化されたスループットと信頼性を利用することが特に適した環境があります。

異種クライアント デバイス環境の課題

802.11n が大きな効果をもたらす環境の 1 つとして、さまざまな異種クライアント デバイスをサポートしなければならない企業が挙げられます。このような異種クライアント デバイス環境には、ホテル、コンベンション センター、空港などのようにゲスト アクセスを提供する企業や、学生がノート PC、PDA などのデバイスを使用してネットワークにアクセスする大学キャンパスなどがあります。これらの組織では、ネットワークに接続するクライアントを制限することなく、どのクライアントに対しても最適化されたインフラストラクチャをプロビジョニングしたいと考えています。

さまざまなクライアントがアクセスするネットワークには、次のような大きな課題があります。

- **下位互換性と上位互換性。** ネットワーク上に異種デバイスが存在する場合、既存の 802.11a/b/g クライアントおよび将来の 802.11n ベースのデバイスの両方をサポートする必要があります。
- **すべてのクライアントに対する一貫したパフォーマンス。** すべてのデバイスが一貫した方法で簡単かつ安全にネットワークに接続でき、アプリケーション要件を満たす帯域幅を使用できなければなりません。
- **競争優位性。** 多くの企業は、独自のワイヤレス ネットワークを使用して従業員以外のユーザ向けにゲスト サービスを提供しており、ネットワークの可用性とパフォーマンスによって競争優位性を強化できると考えています。これらの企業は、既存の 802.11a/b/g デバイスおよび将来の 802.11n デバイスをサポートするネットワークを展開することにより、テクノロジー リーダーとして他社との差別化を図ることができます。

異種クライアント デバイス環境が抱える課題に802.11n および Cisco Unified Wireless Network で対処

802.11n は、既存のネットワークと比べて最大で 5 倍のパフォーマンスを提供するので、ネットワーク上のあらゆる種類のクライアントに対して必要な帯域幅とスループットを確実に保証したいと考えている企業に大きなメリットをもたらします。802.11n の進化により、クライアント 1 台あたりのパフォーマンスと帯域幅が大幅に向上することを期待できます。また、802.11n は、既存の 802.11a/b/g クライアントおよび将来の 802.11n ベースのデバイスが混在する環境においてサービスを提供するために必要な相互運用性も備えています。企業は、次世代のワイヤレス ソリューションへの移行を積極的に推進することにより、テクノロジー面での先進性を示すことができます。

企業は、将来の新しいテクノロジーに適応するために必要なモジュール性と柔軟性を提供する 802.11n 対応のソリューションを、Cisco® Unified Wireless Network によって今すぐ導入できます。Cisco Unified Wireless Network には、Cisco Aironet® 1250 シリーズ アクセス ポイントが含まれます。これは、802.11n ドラフト 2.0 標準への準拠を証明するための Wi-Fi Alliance のテスト ベッドで採用されている唯一の市販アクセス ポイントです。また、シスコは、このアクセス ポイントのワイヤレス インフラストラクチャと Intel クライアント間の相互運用性テストを実施して、802.11n ワイヤレス ネットワークで最適なパフォーマンスが得られることを確認しました。これにより、企業のインフラストラクチャ投資の保護が促進され、ワイヤレス ネットワークにおける「将来性への対応」が保証されます。

まとめ

802.11n は、次世代のワイヤレス ネットワークにおける数多くの利点を備えています。特に、ゲスト アクセスを提供する環境や、さまざまな異種クライアント デバイスに適応する必要のある環境にとって、多くの利点があります。大学キャンパス、ホテル、コンベンション センター、空港などの環境では、802.11n ドラフト 2.0 標準に基づくシスコの次世代ワイヤレス テクノロジーを展開することにより、802.11n の優れたパフォーマンスと互換性を利用できます。Cisco Unified Wireless Network は、モジュール性と柔軟性を備えており、将来への投資を保護すると同時に、今日の異種クライアント環境で必要とされるインフラストラクチャを提供します。

©2007 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0704R)

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社
〒107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー
<http://www.cisco.com/jp>
お問い合わせ先 (シスコ コンタクト センター)
<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter>

お問い合わせ先